

一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(平成27年9月10日～11日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは、平成27年9月10日～11日にかけて、台風18号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が333mm、最大時間雨量では37mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m³/sに対し、**570.71m³/sを記録し、これは大倉ダム管理開始以降最大の流入量です。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の57.4%(327.61m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



大倉ダムの洪水調節実績

| | | | | |
|-------------|----|--------------------------|----|--------------------|
| ・洪水調節 | 開始 | 10日 15時 0分 | 終了 | 11日 10時 20分 |
| ・ダム流域累計雨量 | | 333 mm | (| 6日 15時 ~ 11日 8時) |
| ・最大時間雨量 | | 37 mm | (| 10日 22時 ~ 10日 23時) |
| ・ダムへの最大流入量 | | 570.71 m ³ /s | (| 10日 23時 40分) |
| ・最大流入時の放流量 | | 243.10 m ³ /s | | |
| ・ダムによる最大調節量 | | 327.61 m ³ /s | (| 約 57.4 %) |

ダムの状況写真



(洪水前 9月10日 14時00分)



(洪水後 9月11日 10時30分)

大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 57.4% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
243.10 m³/s

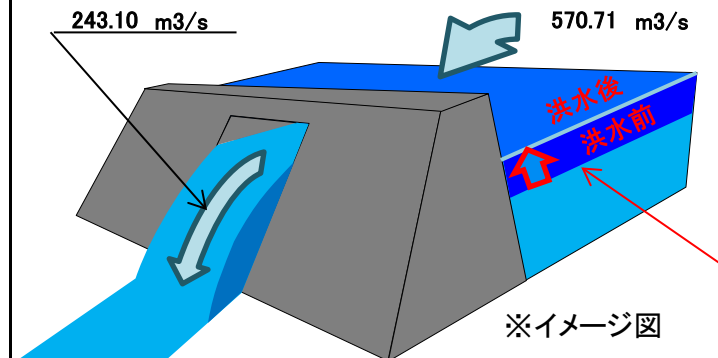
最大流入量
570.71 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
262.64 m

洪水調節時の最高貯水位
266.42 m

最大貯留量
4,594 千m³

3.78 m上昇



※イメージ図

一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(平成27年9月10日～11日)【速報】

宮城県

○ダム下流の広瀬川では、広瀬橋地点の最大水位が避難判断水位(2.20m)を超えており、河川がはん濫する恐れがあるとして、仙台市で避難勧告が出されておりました。

○大倉ダムの洪水調節等により、この広瀬橋地点で、**水位を約0.44m低減させる効果**があったものと推測されます。仮にダムが整備されていなかった場合、さらにはん濫危険水位(2.70m)を超えるような水位上昇の恐れがあり、ダムの効果により、河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真



白沢水位観測所(洪水前 9月10日 14時00分)



白沢水位観測所(洪水後 9月11日 10時30分)

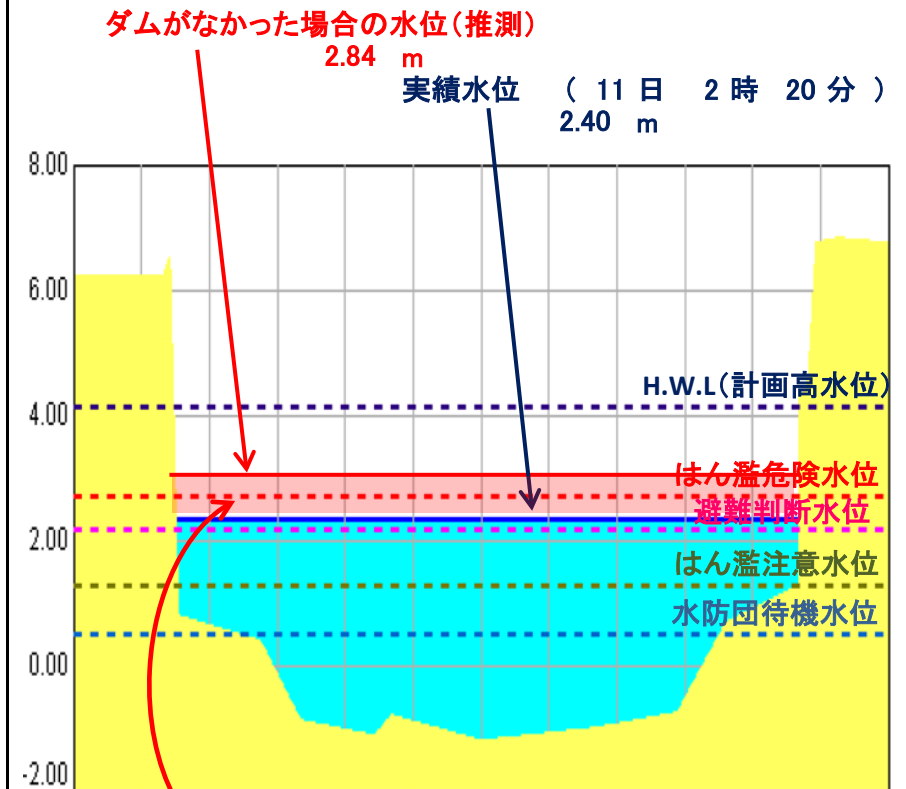


広瀬橋上流部郡山堰(洪水前)



広瀬橋上流部郡山堰(洪水後)

広瀬川(広瀬橋地点)の水位低減効果



ダムにより約0.44mの
水位低減効果を推測